

2025/4/15

日本財団

会長 笹川 陽平 殿

<事業報告書>

精神科医療機関における精神障害者の就労支援プログラムに関する調査研究等

1. 松沢病院就労支援外来プログラムの作成と実施

東京都立病院機構 東京都立松沢病院

標題につきまして、下記の通り報告いたします。

■事業内容（予定）

- (1) 時期：2024年1月～12月（週3回）
- (2) 場所：松沢病院デイケア
- (3) 参加者：20名(1回)
- (4) 内容：就労実践プログラム

■事業内容（完了時）

- (1) 時期：2024年6月～2025年3月（週1回）全17回
- (2) 場所：松沢病院デイケア
- (3) 参加者：約5名（1回）
- (4) 内容：就労実践プログラム、院内実習 計14名参加

I. 松沢病院就労支援外来プログラム内容について

以下、プログラム一覧

内容	担当
①生活リズムの改善、身だしなみ	看護師
②状況把握の向上、対人スキル	看護師
③体力・健康の改善	作業療法士
④計画性の向上	作業療法士
⑤サポート体制の構築	精神保健福祉士
⑥友人・知人関係の改善	臨床心理士
⑦就労意欲の向上	精神保健福祉士、ピア、看護師
⑧情報収集	精神保健福祉士
⑨自己理解を深める	臨床心理士

⑩サポート体制の構築	精神保健福祉士
⑪ストレスコントロール	医師
⑫実行力	作業療法士
⑬コミュニケーション能力の向上	臨床心理士
⑭就労意欲の向上	精神保健福祉士、ピア、看護師
⑮ストレスコントロール	医師
⑯自己肯定感の向上	医師
⑰情報収集	精神保健福祉士

参加条件：①週に3コマ以上デイケアに通所している（うちスポーツ系に1つ以上）

②心理検査を受ける（WAIS、QOL26、PANSS、BACS-J）

※PANSS、BACS-Jは統合失調症者のみ

参加人数：計14名（2024年6月～2025年3月末）

回数：全17回、週1回参加

成 果 物：各プログラム資料、就労支援プログラム告知ポスター、松沢病院精神科デイケア内就労プログラムホームページ

（<https://www.tmhp.jp/matsuzawa/section/seishinka/shrou.html>）

※週に1度以上多職種による就労支援プログラムミーティングを実施している

## II. 院内実習について

実習内容と協力企業は下記の通り

実習内容	協力企業
物品管理業務（ピッキング）	（株）トーカイ
リネンサプライ業務	（株）トーカイ
清掃業務	東京美化
売店業務	光洋
統括マネジメント業務（事務作業）	メディカルマネジメント松沢

参加条件：就労支援プログラムに80%以上参加した者

参加人数：計8名（2024年6月～2025年3月末）

実習回数：約2ヶ月間、全10回の実習へ参加

成 果 物：業務マニュアル、実習内容説明書（実習生向け）、実習希望調査アンケート、実習の手引き、実習評価表（企業向け／デイケア職員向け）、腕章、

※実習補償についてはしごと財団を活用

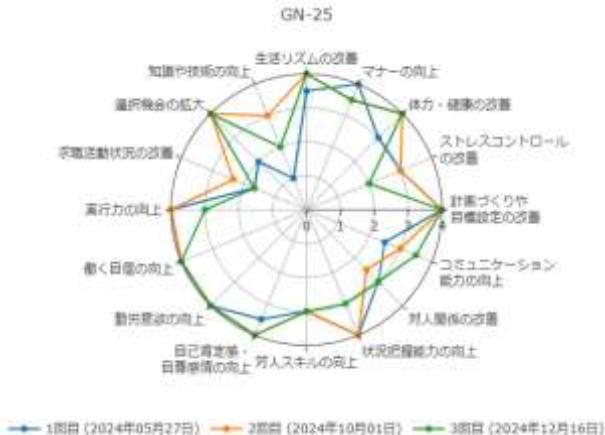
## III. 評価方法

ツール：KPS ビジュアライズツール

⇒利用者の評価実績に連動して、必要な項目が自動的に表示されるため、職員の習

熟度に依存せず、誰でも利用者のタイムリーな状態を把握することができ、適切な支援を行うことを可能とした仕組み（出典：京都自立就労サポートセンター）  
評価タイミング：3回（①参加前、②プログラム修了後、③院内実習後）

※右図はKPS結果例



#### IV. 松沢就労パスについて

就労プログラムに80%以上参加し、実習に遅刻早退欠勤なく参加できた方に向けて松沢就労パス（下図参照）を授与している



#### V. 総括

松沢病院就労支援外来プログラムの作成と実施については各職種の専門性を活かした就労支援プログラムの完成し、院内企業の協力によって様々な業務体験ができる体制が整った。客観的な評価指標と多職種連携によって本人の自己理解を深めることや就労に向けた効果的なフィードバックが可能となっている。一方、プログラムの実施回数や参加人数については目標に達していないため、引き続きプログラム全体の改善に努め、より多くの患者が就労プログラムに参加でき、就労という自己実現達成に向かえる環境を整えていく必要がある。

以上